

# 令和3年矢巾町議会定例会6月会議

## 一般質問議員と質問事項一覧表

受付番号	質問議員	質問事項	答弁者
1	5番 村松 信一	1. 公共施設長寿命化のための個別施設計画について	町長・教育長
		2. SDGsの取り組みについて	町長・教育長
		3. 矢巾中学校跡地について	町長
2	10番 昆 秀一	1. 特別調整等が必要な方への支援	町長
		2. DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進	町長・教育長
		3. 公園のあり方	町長
		4. 困難を抱える若い世代の方々への支援	町長・教育長
3	9番 赤丸 秀雄	1. 町内公共交通のあり方について	町長
		2. 町営住宅建て替え構想について	町長
		3. 旧矢巾中学校跡地活用について	町長
4	3番 小笠原 佳子	1. 自転車の安全利用について	町長・教育長
		2. コロナ禍の子ども食堂の運営について	町長
		3. 高齢者への支援について	町長
5	1番 藤原 信悦	1. ヤングケアラーの早期発見と支援について	教育長
		2. 国指定史跡徳丹城跡の歴史的価値をわかりやすく、後世に伝えていくために	町長
		3. 人口減少傾向下での定住人口の創出について	町長
		4. 矢巾町生活支援事業「やはば移動スーパー」について	町長
6	7番 高橋 安子	1. 本町の児童生徒の不登校実態と対策について	教育長
		2. 「えんじょいセンター」の活用について	町長
		3. 矢巾中学校跡地の利活用と徳田小学校の移転問題について	町長・教育長
7	4番 谷上 知子	1. 小学校高学年教科担任制導入について	教育長
		2. 産後ケアについて	町長
		3. 町のPRについて	町長
8	15番 山崎 道夫	1. 旧矢巾中学校敷地の利活用基本方針案に対する考えについて	町長
		2. 小中学校におけるコロナ対策強化について	教育長
9	13番 川村 よし子	1. コロナ感染症拡大に伴う対策について	町長・教育長
		2. 矢巾町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について	町長
10	2番 吉田 喜博	1. 矢巾町の防災体制と消防団員について	町長
		2. 本町の特産品について	町長
11	14番 小川 文子	1. スーパーシティ構想について	町長
		2. 学校給食の調理部門等の民間委託について	町長・教育長
		3. 旧矢巾中学校跡地利活用	町長
		4. コロナ禍の中ひとり親世帯への町独自の支援を	町長・教育長
12	12番 長谷川 和男	1. 旧矢巾中学校敷地の利活用について	町長
		2. 政策秘書について	町長
計	12名 35件	【一般質問実施日】 令和3年6月3日(木)午前10時 ※受付No.1～4 令和3年6月4日(金)午前10時 ※受付No.5～8 令和3年6月7日(月)午前10時 ※受付No.9～12	町長 31件 教育長 13件

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 1	令和3年5月17日	午前・ <del>午後</del> 9時00分
議席番号 5番	村松信一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 公共施設長寿命化のための個別施設計画について</p> <p>(答弁者) 町長、教育長</p> <p>矢巾町の多くの公共施設が老朽化により修繕や更新時期を迎えます。</p> <p>年々増加する扶助費等への対応により今後の公共施設等の更新・維持管理費用への財源確保は、益々厳しくなることが見込まれ、これまでの取り組みを踏まえ、さまざまな社会情勢に対応しながら、行政サービスの維持と財源負担の軽減・平準化を図る必要があるため、公共施設の全体像を明らかにする必要があります。</p> <p>今年2月と3月に児童福祉施設長寿命化計画、学校教育施設長寿命化計画及び橋梁長寿命化修繕計画については公表されましたが、公共施設長寿命化のための全体像について伺います。</p> <p>① 橋梁、学校教育施設、児童福祉施設、水道、下水道、農業集落排水の個別施設計画は策定済みで、ホームページで確認出来たが、この他の個別施設計画はどうなっているか。</p> <p>② 令和2年度で公共下水道管路長寿命化計画は5年間の計画期間が終了したが、令和3年度以降の計画状況を伺う。</p> <p>③ 学校教育施設長寿命化計画では、大規模改修の場合1年</p>

	<p>目に調査、2年目に基本計画、3、4年目の基本設計・実施設計を経て5年目に工事を実施するとあるが、財源についても計画に盛り込む必要はないか。また学校教育施設について、5年毎の長寿命化計画の見直し時に統廃合や建て替え、用途変更等の検討を行いその結果、統廃合が決定した施設があった場合、余剰となる施設の在り方については、いつどのように協議するのか。</p> <p>④ 現在までの公共施設等全体の維持管理、修繕、更新等に係る費用に対し、今後、平準化した場合の年間費用はどの程度となる見込みか。また、これらの費用に充当可能な財源についての検討はされるのか。</p> <p>⑤ 過去の質問によると専門業者による定期法定点検等により個別施設ごとの劣化状況の確認や点検内容についての点検簿があることとなっており、新たに国土交通省より集計結果による計画の見直しや、保全台帳をそなえることが示されたが、新たな保全台帳に今までの点検簿の内容も引き継ぐべきと考えるがどうか。</p> <p>⑥ 体育館は災害発生時に地域住民の避難場所となる重要な施設であることから、長寿命化計画の中に防災機能強化の取組も盛り込むことが必要ではないか。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) SDG sの取り組みについて (答弁者) 町長、教育長</p> <p>町内のさまざまな団体や企業、個人と行政が力を合わせて推進していくための第一歩として、役場が取り組む行動をまとめた「矢巾町役場SDG sアクションプラン」を策定し取組むようだが、SDG sの今後の取組みについて伺う。</p> <p>① 役場自らがSDG sを実践しながら、徐々に企業や組織等にも取組を発展させていくために、アクションプランを策定したと捉えているが、町内のさまざまな企業や団体に対しSDG s推進の働きかけの方法について伺う。</p> <p>② 子ども議会でSDG s取組宣言がなされたが、学校では</p>

子どもたちがどのような活動に取り組んでいるのか伺う。

質問3

(質問事項) 矢巾中学校跡地について

(答弁者) 町長

本町は、スーパーシティ構想に全国31自治体と共に提案応募されました。

応募には県と市や6町による共同の応募や広域データ連携によるDXの提案とともに、本町は「人生100年時代を健康に暮らすフューチャー・デザインタウン」として応募しましたが、課題として「健康(幸)寿命の延伸と医療扶助費の抑制」ほか2点を掲げております。

第一の課題として掲げた医療扶助費抑制は、一般会計に占める扶助費の割合が近年大幅に増加し、町財政に大きな影響があり、日ごろから住民が健康への意識を高め、健康増進につながる行動が必要であるとしております。

そこで先端的技術サービスによる生涯電子カルテや健康チェック端末など、ヘルスケアサービス等の活用により、解決を図る考えの設定と先端的技術とサービスによる、課題解決に向けた取組の構想を掲げており、「ヘルスケア」「介護」「医療」の課題の取組を、重要な課題として掲げたことにも理解できます。また一方ではスーパーシティの課題として取り上げなくても、本町の重要な行政課題であることには変わりありません。

そこでスーパーシティの応募した審査結果いかんに関わらず、「健康(幸)寿命の延伸と医療扶助費の抑制」は現在も今後も重要な行政課題でありますことから、スーパーシティ構想の推進に関わる企業や組織など、多岐にわたる取組む企業群の誘致場所としての旧矢巾中学校跡地について伺う。

① 先端的技術やサービスに取り組む関係企業や組織等に関する施設や研究機関等を誘致する場所として旧矢巾中学校跡地を活用してはどうか。

② 土地の有効活用の面から建築に対してはSDGsの考

えや脱炭素などの方針に沿った建物とし、下層階は研究機関や技術開発等、上層階は町営住宅とする考えはどうか。

③ 出来るだけ公園を整備し、くつろげる場も設け、公園施設を災害時の避難場所としても活用してはどうか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>2</u>	令和3年 5 月 17 日	午前・ <del>午後</del> 9 時 00 分
議席番号 <u>10</u> 番	昆 秀 一	

番号	質問要旨
質問 1	<p>(質問事項) 特別調整等が必要な方への支援 (答弁者) 町 長</p> <p>特別調整とは、刑務所や少年院に入っている者のうち、帰る場所がなく、かつ高齢や障がいといった問題を抱える者について、退所後に福祉的支援を受けることができるよう、各調整機関が連携して特別な手続きにより社会復帰のための調整を行い、その再犯を防ごうとするものである。</p> <p>2020年版犯罪白書によると、2019年の一般刑法犯のうち65歳以上の高齢者は4万2,463人。全体の22%を占め、割合は年々高まっている。</p> <p>高齢及び障がいのある容疑者等に対する釈放前からの支援は重要であるという認識のもと、以下について伺う。</p> <p>① 地域共生社会の形成のため特別調整等の支援は、孤独・孤立対策の一環ともなることから、本町の支援の考えは。</p> <p>② 特別調整を必要とされる方、または同等の支援が必要とされる方の把握や相談体制などはどのようになっているのか。</p> <p>③ 特別調整を必要とされる方への支援の方法、各調整機関との連携体制はどのようになっているのか。</p>

質問2

(質問事項) DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進

(答弁者) 町長、教育長

町長の令和3年度の施政方針で示された重点的に取り込む項目として、デジタル化の推進を挙げており、新たに担当部署を設けて取り組んでいるところである。

国においては、経済産業省で研究会を設置し報告書をまとめている。その報告書ではDXを実現していく上でアプローチや必要なアクションについての認識の共有性が図られるようにとの指摘がなされている。また、9月からはデジタル庁を創設し、組織の縦割りを排し、国全体のデジタル化を主導するとのことである。

本町では、DXに関連するスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募に対して、「ヘルスケア・医療分野を中心として、病気にならず人生100年時代を健幸に暮らすフューチャーデザインタウンを目指す」とする提案をしている。

以下、DXに関連することについて伺う。

- ① 町内Wi-Fiネットワーク網の構築の進捗状況と、町民への説明は。
- ② 現在、DXで成果を上げている企業は世界でもわずか5%とされている。そうした現状の中で、DX化には課題もある。その課題をどう捉えて、解決していこうとしているのか。
- ③ DX化の課題の一つであるIT人材の不足に対応するために、今何が必要と考えているのか。
- ④ DXに対する町民の理解をどのように求めていくつもりなのか。
- ⑤ GIGAスクール構想の現時点での取り組み状況は。また、プログラミング教育の状況は。
- ⑥ 国体の種目でもあるオンラインゲーム・eスポーツの推進に関する考えは。

質問3

(質問事項) 公園のあり方

(答弁者) 町長

日本の公園は、1956年制定の都市公園法をベースとして整備されてきている。

かつて、国では質より量を重視した公園整備が行われてきた。都市公園制定当時の児童公園には滑り台・ブランコ・砂場を設置することが義務付けられてもいた。だが、現在は公園の遊具に関しては老朽化が目立ち、撤去されているところが多い。さらに、時代の移り変わりにより公園のあり方も変わってきているところであることから、本町の公園整備について、以下伺う。

- ① 本町の公園整備に関して町民の求めているものをどのように捉え、どのように町民と話し合われてきているのか。
- ② 南矢幅にある南公園は、近隣住民からはその利用を疑問視する声が出されていて、町からは納得できる回答が得られていないとしている。南公園の今後について近隣住民にしっかり納得してもらえるように説明をしていくべきではないのか。
- ③ 公園の管理などは、その地域に任せられていることが多いが、雑草の除去については除草剤を使用しているところがあるようだが、町としては把握しているのか。  
また、除草剤を使用している場合の安全性についての確保はどうなっているのか。
- ④ 旧矢巾中学校敷地利用基本方針検討委員会において、当時の企画財政課長は、広場を使った公園的なもので遊歩道の設置等のレベルであればイニシャルコスト1億円、ランニングコスト300万円と発言されているが、その根拠の詳細を示されたい。



質問4

(質問事項) 困難を抱える若い世代の方々への支援  
(答 弁 者) 町長、教育長

乳幼児や児童、高齢者や障がい者が社会的に支援や福祉サービスの対象となることは、誰もが理解するところである。しかし、本来であればこれから国の社会保障や社会福祉制度を支えるために働いてもらわなければならない若い世代で、働かず、働けず、家に引きこもってしまっている場合がある。そういう方々に対して「あえて税金を使ってまで行政が自立の支援をするのはおかしい」と言う方もいる。

町としては、困難を抱えている若い世代の方々への支援の必要性について、さまざまな考え方や意見を持っている方たちに対して、丁寧に説明してコンセンサスを得て、できれば協力してもらえらる環境を作る必要があるように考えることから、以下伺う。

- ① さまざまな困難を抱えた若い世代に対する支援の前提として、その状況を分析して把握することがまず必要である。そこで、町内の若い世代の方々の抱える困難の状況をどのように把握し、その方たちへの支援に結びつけているのか。
- ② 不登校や引きこもりの若者に対する自立のための支援をどう行ってきたのか。
- ③ 困難を抱える若い世代の方々への相談支援には、きめ細かな支援が必要であり、社会参加に向けて親身になって困難に対して、寄り添いながら伴走する相談員の存在が欠かせないと思うが、人手不足がいわれている中、そういう存在の育成・確保をどのように考えているのか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>3</u>	令和3年5月17日	午前・ <del>午後</del> 9時00分
議席番号 <u>9</u> 番	赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町内公共交通のあり方について (答弁者) 町長</p> <p>町内移動に交通弱者、特に高齢者で運転免許を持たない方々から、いつになったら利用し易い公共交通になるのかと聞かれますので、以下の項目内容について伺う。</p> <p>① 乗合型バスの運行開始から試行期間を含め2年以上を経過しましたが、町では利用者を含めた町民の声をどのように捉え、運行状況、特に利用状況数を踏まえた評価をどう考えているか伺う。</p> <p>② 運行システムが広く町民に行き渡っていると思われませんが、町は以前からやはラジ、町ホームページ、町広報等で周知を行い、必要であれば地元説明会を再度行うと話されていますが説明会の計画はあるのか伺う。現在利用し易いよう運行改善など検討されている項目について伺う。</p> <p>③ 使い勝手の悪い原因の一番（利用者の絶対数が少ない）に、ドアtoドアの運行が出来ない点と思われませんが、町民本位の立場で運行するよう再考を求めますが、その考えについて伺う。</p> <p>④ 循環型バス運行の利用状況を踏まえ、町は今後の継続運行をどのように考えているか伺う。また、従前の「さわやか号」運行を望む声の一部にあるが、循環型バスを廃止して、本数を絞って町内循環型バスに変更する考えを伺う。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 町営住宅建て替え構想について (答 弁 者) 町 長</p> <p>今年度から本格的に老朽化した町営住宅の建て替えを検討する時期であると説明がありました。そこで以下項目の取組内容について伺う。</p> <p>① 建て替えに向けた庁内の素案はいつ頃を目途に作成する方針であるか伺う。また、候補地として市街化拡大するエリアが有力地と想定するが、令和3年度にはある程度方針固めをする必要があると思われるがどう考えるか。</p> <p>② 戸建てや集合住宅、高層化住宅等の建築スタイルがあるが、建設コスト、維持メンテナンス費用等メリット・デメリットの検討比較を行っているか伺う。また、現状の242世帯分の町支出の年間平均経費額は、どの程度であるか伺う。</p> <p>③ データによれば町営住宅の建築年数は8割以上が40年を経過し、新しい物件でも29年経過である。入居者1世帯当たり2.2人であり、近年の入居希望ニーズを踏まえ多様な間取りに配慮する必要性があると思う。将来的また町民のニーズに配慮した建設が望まれるがその考えを伺う。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 旧矢巾中学校跡地活用について (答 弁 者) 町 長</p> <p>3月28日に一心会会派報、30日に町の情報による新聞掲載により、旧矢巾中学校跡地利用について町民の関心が一気に高まっています。特に町民の中でも矢巾中学校卒業者や当時村の苦しい財政を工面して中学校統合をした経緯を知っている方々は、売却をすることへ大いに異論を唱えています。そのことを踏まえ、以下の項目について伺う。</p>

- ① 跡地を売却して基金にしておく町長は説明しているが、将来計画が具体的に見えない状況では、売却する必要性を感じ得ませんが、考えを伺う。
- ② 町長は日頃からコミュニケーションが重要と話されていますが、現在活用している町民運動会や野球などの球技大会、産業まつりやロードレース等での駐車場利用等役場・体育館との複合利用している現状をどう考えているか伺う。また代替地利用案の駐車場対策は、どうするか伺う。
- ③ 10年後以降、将来的に体育館や役場庁舎の建て替えが必要となるが、その場合の活用など将来展望を見据えた対応が必要であると思うが、その点をどう考えるか伺う。
- ④ 多くの町民は町民説明会の開催やアンケート調査を要望しており、本会議で一般質問を行いその対応結果を広く町民にお知らせ願いたいと切望されている。そのことについて、どう考えているか伺う。
- ⑤ 市街化区域拡大の手続きを進めている中で、中学校跡地を住宅用地として売却することが、市街化区域拡大に与える影響はないか伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原 由巳 殿

受付 No. <u>4</u>	令和3年 5 月 17 日	午前・ <del>午後</del> 11時05分
議席番号 <u>3</u> 番	小笠原 佳 子	

番号	質問要旨
質問 1	<p>(質問事項) 自転車の安全利用について (答弁者) 町長、教育長</p> <p>自転車は免許も必要なく、気軽に乗れる大変便利な乗り物です。また、環境に優しい交通手段であり、子供から大人まで身近な乗り物として利用されています。</p> <p>最近では、コロナ禍の影響でバスや電車の人混みを避けるため自転車通勤に変更する方、自動車の免許を返上して自転車に乗り換える方、健康増進のため自転車を利用する方が増えてきているようです。</p> <p>我が国の自転車の保有台数は約7,200万台です。自動車の台数にほぼ匹敵するほどの台数です。自転車保有台数は年々増加傾向にあり、平成28年の自転車普及率は57%と、約6割の人が自転車を保有しており、多くの人が交通手段として自転車を利用している状況です。</p> <p>岩手県は、自転車保有率全国26位です。スポーツ車、電動アシスト車等の販売台数が近年急増し、自転車保有率も増加しているようです。そこで以下伺います。</p> <p>① 矢巾町内での自転車による昨年度の事故について件数と遭われた方の年代、事故の内容を伺います。</p> <p>② 町民、児童・生徒に対しての自転車の安全教育の取組について伺います。</p> <p>③ 町民、児童・生徒に対して、自転車保険への加入推進についての考えを伺います。</p>

	<p>④ 自転車保険条例の制定が全国的に広がる動きがあり、当町での考えを伺います。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) コロナ禍の子ども食堂の運営について (答弁者) 町 長</p> <p>今般の新型コロナウイルス感染症の流行は、生活にも多大な影響を与え、経済活動の停滞による影響を受けたひとり親家庭も多く、コロナ禍での子ども食堂のニーズは高まっていると思われます。</p> <p>食の支援だけではなく、子どもたちにとって親以外の大人との触れ合いや、和気あいあいとした雰囲気の中での食事は安心できる居場所を提供するものであり、子どもたちの人格形成に大きな影響を与える大事な活動であります。</p> <p>この子ども食堂の食材は、主に運営する団体が用意するほか、企業や団体、個人からの寄附によって賄われており、多くのボランティアの方々と、たくさんの善意に支えられていますが、子ども食堂の現状について以下伺います。</p> <p>① 当町での子ども食堂の参加人数、開催回数、また活動内容について伺います。</p> <p>② 子ども食堂の運営主体は何処で財源はどのようにしているのか伺います。</p> <p>③ 矢巾町における子ども食堂の課題を伺います。</p> <p>④ 地域子供の未来応援交付金「つながりの場づくり緊急支援事業」の本町における活用の考えを伺います。</p> <p>⑤ コロナ禍における社会的孤立防止の為に、NPOに対する交付金が様々あります。しかし本町にはNPOがないため、活用されない事について考えを伺います。</p>

質問3

(質問事項) 高齢者への支援について

(答弁者) 町長

高齢化により、軽・中等難聴の方が増えて、他者とコミュニケーションを図る上で障がいとなります。

私の身近な方からコロナ禍のマスク着用もあり、特に聴き取り難いと、ご相談をいただきました。

本町において、現役時代よりも収入が減少する年金生活者が多くなる65歳以上の高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成する制度を導入すべきと考えますが、所見を伺います。

また、不動産所有者が高齢者の場合に限り、居住不動産を担保として生活資金を借りること、いわゆる不動産担保型生活資金（リバースモーゲージ）について概要をお示し願います。また県の社会福祉協議会が窓口と伺いますが当町での相談件数、実際に利用した人数を把握していればその数を伺います。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>5</u>	令和3年 5月17日	<del>午前</del> ・午後 0時20分
議席番号 <u>1</u> 番	藤原信悦	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) ヤングケアラーの早期発見と支援について (答弁者) 教育長</p> <p>かつては子どもの数も多く、祖父母も同居する世帯が多かったので、家族に世話や介護等を要する人があっても、子どもはその一部を担うだけでした。</p> <p>しかし、今日では、核家族やひとり親世帯の増加等もあり、本来、世話をしてもらい立場から大人が担うような責任を負う立場となる子どもがおり、そのために、学業や学校生活に支障が出ていることが社会問題となっています。</p> <p>NHKのニース報道でも、中学生の17人に1人がヤングケアラーであるとの調査結果を踏まえ、国も対策にのり出すとありました。以下についてのお考えを伺います。</p> <p>① 町内におけるヤングケアラーの実態調査は行っているのでしょうか。調査から当町の実態はどのようなになっているのか伺います。</p> <p>② ヤングケアラーの問題解決にあたっては、地域社会、学校、教育委員会、生活支援等に携わる福祉課等の連携が必要と考えますが、具体的にどのような役割分担をし、対応されているのか伺います。</p> <p>③ ヤングケアラーではないかとの気づきは、学校での欠</p>



	<p>席、遅刻、宿題をしてこない、忘れ物、学力低下、友達関係が悪くなる等の変化にあると南魚沼市での調査では報告されています。</p> <p>また、南魚沼市ではこの学校での教職員の気づきを重要と考え、研修を実施しているとの報告もありますが、当町では教職員にそのような研修を行っているのか。また、実施するというお考えはあるのか伺います。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) 国指定史跡徳丹城跡の歴史的価値をわかりやすく、後世に伝えていくために</p> <p>(答弁者) 町長</p> <p>以前、徳丹城跡の整備にあたっては来訪者が目で見て、理解いただける方向で進めるべきではないかと質問いたしましたが、前向きな回答はありませんでした。</p> <p>現在、史跡西域の整備事業を進めていますが、残念ながら他の古代城柵に比べても目に見えるものが少なく、また、何を目的に整備されているのか、来訪者に理解いただくには無理があると思います。</p> <p>文化財保護法では、文化財とは「国にとって歴史上または学術上価値の高いもの」と定められています。よって、整備にあたっては、この趣旨に則って行うべきではないかと考えます。</p> <p>更に申し上げます、町内、紫波郡内にあって唯一の国指定史跡であるこの貴重かつ有用な徳丹城跡を観光資源として整備、活用すべきと考え、以下、お伺いします。</p> <p>① 徳丹城跡は最終的にどのように整備するお考えか。 また、国が条件付きで認める遺構の一部復元や関連施設の整備等について具体的な検討をするのか伺います。</p> <p>② 現在でも史跡内の案内板は少なく、また、案内板の場所も遺跡の場所も現場ではわかりにくい状況です。誠に不親切な史跡と捉えられ、史跡としての評価を落とすことにつ</p>

	<p>ながらないか危惧します。</p> <p>一戸町の御所野遺跡では、4月末よりスマートフォンやタブレットを使い、史跡内の要所での説明や資料館での案内ができるサービスを始めていることは報道のとおりです。未だ改良の余地はあるとのことでしたが、一人でも充分な理解が得られる内容でした。</p> <p>このような取組についてのお考えを伺います。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 人口減少傾向下での定住人口の創出について (答弁者) 町長</p> <p>広報やはばによれば、4月1日現在の当町の人口は2万7千人の大台を割り込でいます。</p> <p>一方、昨年10月実施の国勢調査速報値では、人口は平成27年対比で1.4%の増加となっています。しかし、平成27年と平成22年対比の人口の伸び率は1.7%であることから、伸びは鈍化傾向にあると考えられます。いずれ、何らかの対策を講じなければ、人口は将来推計人口より早く減少していくと思われれます。</p> <p>また、令和3年度の施政方針では、4つの年度重点取組項目の一つとして「定住人口、交流人口、関係人口の創出」がありますが、減少傾向が今後も続くようであれば人口3万人構想や「定住人口の創出」はむずかしくなると思われれます。</p> <p>このことから、以下についてお伺いします。</p> <p>① 人口減少は予測よりも早まっていると感じますが、その要因は何であるとお考えか伺います。</p> <p>② この傾向に歯止めをかけるために、住宅用地の確保とあわせ、就労の場の確保を急ぐべきと考えます。</p> <p>そのためには、今取り組んでいる企業誘致を強力に推し進めるとともに、地場産業の育成、新規産業の創出に力を入れるべきだと考えます。</p> <p>産業育成等については、産学官連携でのプロジェクトで進</p>

	<p>めるとのことでしたが、その後の取組経過と今後の課題についてお考えを伺います。</p>
<p>質問4</p>	<p>(質問事項) 矢巾町生活支援事業「やはば移動スーパー」について (答弁者) 町長</p> <p>町と株式会社シンセラが連携した「やはば移動スーパー」の運用が始まりましたが、以下についてお尋ねいたします。</p> <p>① 本事業の目的は、移動手段がなく、近くに小売店のない地域に住む「買い物弱者」への支援が目的だと理解していました。しかし、戸別配布されたチラシには移動スーパーの立寄る公民館が記載されていますが、支援目的を考慮して選定されているのか疑問です。</p> <p>確かに、市街地の「買い物弱者」の支援も大切ではありますが、先に取り組むべきことは、高齢化が進み、近くにスーパー等の小売店もなく、歩く以外に移動手段をもたない周辺地域の方々へ支援ではないかと考えます。</p> <p>株式会社シンセラとはこの点をふまえ、十分に協議されたのか伺います。</p> <p>② 1週間に1回の巡回スケジュールでは、鮮度の問題もあり、生鮮食品はなかなか買えないと思います。一度の買い物で何日分の保管ができるかも考慮し、最低でも週2回の巡回が必要と考えますが、いかがでしょうか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 6	令和3年 5 月 17 日	<del>午前</del> ・午後 2 時 03 分
議席番号 7 番	高橋 安子	

番号	質問要旨
質問 1	<p>(質問事項) 本町の児童生徒の不登校実態と対策について (答弁者) 教育長</p> <p>全国的に不登校に陥る小・中・高校生が、子どもの人数が減少しているにも関わらず毎年高水準で推移している状況である。特に5月の大型連休以降や夏休みなど長期休業以降は不登校になる児童生徒が増加するとのこと。</p> <p>不登校になった場合の支援は、学校以外の場所で学校生活への復帰を支援することを目的に「適応指導教室」であった。しかし、そこにも通えない児童生徒も多ことから、平成29年2月に文部科学省から「義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保等に関する法律「教育機会確保法」が施行された。</p> <p>このことによって「フリースクール」や家庭など学校以外での学びの場が増えた。</p> <p>また、令和元年10月には、学校復帰を目指していなくても、教育支援センターやフリースクールで学んでいる日を学校長の判断で、出席扱い出来るようになった。</p> <p>このことから以下伺う。</p> <p>① 本町での小中学校の不登校状況について伺う。 ② 不登校として計上されるのは、年間継続して30日以上欠席の児童生徒と聞くが、それ以外に不登校傾向の児童生徒はどの位か。 ③ 本町での不登校児童生徒への対応について伺う ④ 本町では、不登校児童生徒について、フリースクール等</p>

	<p>との連携はあるか伺う。</p> <p>⑤ 今後フリースクールへの支援を検討する予定はあるか伺う。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 「えんじょいセンター」の活用について (答弁者) 町 長</p> <p>介護予防・認知症予防を目的に「えんじょいセンター」が開所してから、半年が経過した。</p> <p>この間、オレンジボランティアの皆さんや町社会福祉協議会の事業計画により活動している状況である。</p> <p>このことから以下伺う。</p> <p>① 開所当初から現在までの利用者はどのくらいか。 男女別ではどうか。</p> <p>② 日によって時間帯が異なるようであるが、午前 10 時から午後 3 時まで実施する場合、一日に利用する人はどのくらいか。</p> <p>③ 男性シニア健康サロンの参加者はどのくらいいるのか。 また、どのような活動か。</p> <p>④ 今後、子供たちが利用できる場所としても利用したいとのことであったが、現在、厨房施設が無い状況である。厨房施設を完備する計画はあるか。 すでに本年度から「ここかむ食堂」が、月 2 回「夜ここかむ」を実施する計画があるが、厨房がない場合、公民館やさわやかハウス等で準備し、運ばなければならない悪天候の場合など困難であると思われるがどうか。</p> <p>⑤ 2階を利用して、「ここかむ食堂」等、休日や長期休業中児童生徒に解放する計画はないか。</p>

質問 3

(質問事項) 矢巾中学校跡地の利活用と徳田小学校の移転問題について

(答 弁 者) 町長、教育長

矢巾中学校跡地については、平成24年に現在の白沢地区に校舎が移転し9年が経過した。

旧矢巾中学校跡地は、最初の計画では再び学校として活用するとの情報があり、矢幅駅も近く矢巾スマートICの開通で駅の西側も発展すると町民は大きな期待を持った。しかしその後話はなくなり、校舎も壊され、何年も空き地となっている現状である。

また、徳田小学校については、数年前まで徳丹城史跡内にあることから移転しなければならないという説明であったが、最近ではその話も無い状況である。

本町の公共施設についても、町営住宅や町民総合体育館を始め老朽化が進んでいる施設が多くあるが、予算が追いつかない状況である。

このようなことから、矢巾中学校跡地は駅やスーパー等も近く住宅立地条件としては申し分なく、多少高額であっても購入希望者は多いと思われる。当局の基本方針のとおり宅地として売却し、小学校移転費用など教育施設に活用しても良いのではという思いから、以下伺う。

- ① 現在、徳田小学校の移転計画について、どのようになっているのか伺う。
- ② 矢巾中学校跡地を売却する場合は、何年後を予定しているか。
- ③ 中学校跡地を売却した場合の収益は、教育施設や社会教育施設の財源として基金をとという提案であるが、徳田小学校移転建設費用の一部として積み立てる考えはないか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>7</u>	令和3年 5 月 17 日	<del>午前</del> ・午後 2 時 50 分
議席番号 <u>4</u> 番	谷上知子	

番号	質問要旨
質問 1	<p>(質問事項) 小学校高学年教科担任制導入について (答弁者) 教育長</p> <p>新型コロナワクチンの接種が始まりました。町民にとって待ちに待った予防接種です。人類の危機を救う科学の重要性を思い知らされます。しかし、ワクチンが日本で製造できなかったことは残念に思います。日本で承認されたワクチンは mRNA (メッセージーRNA) という物質を使った新しい技術が生かされているそうです。開発立役者の一人は東西冷戦下時代にハンガリーからアメリカに行き、困難の中で30年も研究を続けているカタリンカリコさん。幼少期から生物科学に興味があったそうです。子供のころの体験が科学に進むきっかけだと話す研究者は多くいます。世界でSTEM (ステム: 科学・技術・工学・数学) 教育またはSTEAM (ステーム: 科学・技術・工学・芸術・数学) 教育が進められ、日本でも始められています。IT、ICT、AI、プログラミングといった技術が向上し、自ら学び発見する創造性のある力をつけたいという意向があるそうです。</p> <p>文科省では2022年度より、小学校の高学年に教科担任制を本格的に導入します。教科担任制は学校規模により既に行われている教科 (音楽家庭図工体育等) もあります。導入教科は自治体に任されるようですが、学力の向上や系統性、社会の要請等から英語、理科、数学を勧めています。小学校高学年頃から抽象的になる理科や算数が苦手になります。仮に理科や算数を教科担任制にすることで内容を理解し、自然科</p>

	<p>学（物理・天文・地球惑星・化学・生物）や形式科学（数学・統計学）に魅かれる子供たち。科学の発展に繋がられます。本町での教科担任制導入について以下伺います。</p> <p>① 小学校高学年の教科担任制導入予定について伺います。</p> <p>② 教科担任制が始まる場合の導入教科について伺います。</p> <p>③ 教科担任制導入の効果と配慮することについて伺います。</p> <p>④ 学級数が1クラスの学校規模の教科担任制の実施方法について伺います。</p> <p>⑤ 教職員数の加配や補助教員の補充について伺います。</p>
<p>質問2</p>	<p>（質問事項）産後ケアについて （答弁者）町長</p> <p>様々な背景で、出産直後の母子に対する手助けが得にくい環境があります。矢巾で子供を産み育てたいと願う家庭への産後ケアのサポートについて以下伺います。</p> <p>① 過去5年間の新生児の出生数は減っていますが、合計特殊出生率は増加しています。原因の分析について伺います。</p> <p>② 出産後の母体、特に産褥期は母親自身が最も疲労する時期です。肉体的にも精神的にも疲労を感じる頃に受けられるサポートとして、沐浴をはじめ夜間も手助けできる様に親子を預かる施設サポートについて伺います。</p> <p>③ 国民保養センターでの「無料・赤ちゃんのサポート有」温泉券を発行するなど、母子ともに休養できるような産後ケアの考えについて伺います。</p>



質問 3

(質問事項) 町のPRについて

(答弁者) 町 長

町民が参加する観光活動は町の強いPRになり、何より町民自身の郷土愛を深めます。歴史や文化等を知り、商工業、農林畜産業を体験し、学び、広める観光活動として、子どもから大人まで参加できる観光ボランティアの育成の考えについて伺います。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 8	令和3年5月19日	午前・午後 10時37分
議席番号15番	山崎道夫	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 旧矢巾中学校敷地の利活用基本方針案に対する 考えについて (答弁者) 町長</p> <p>3月29日、議会全員協議会において旧矢巾中学校敷地の利活用策について、「たたき台」として矢巾町の考えが示された。その内容は、旧矢巾中学校の跡地約1.45haとかっこグランド約1.85ha、合わせて約3.3haを宅地や業務用地として民間に売却するという基本方針案である。</p> <p>平成24年度に矢巾中学校が、白沢地区に移転開校し9年余りが経過したが、この間盛岡市に拠点を置く学校法人に対し旧矢巾中学校跡地全体を貸す問題で、様々な議論経過があり今日に至っている。</p> <p>今回基本方針案として提案された民間への売却を基本方針案とした「たたき台」について以下伺う。</p> <p>① 今年2月と3月に2回開催した庁内検討委員会で旧矢巾中学校の敷地について、民間への売却を最善の策として決定し、基本方針案とした検討のあり方に疑問を感じざるを得ない。</p> <p>旧矢巾中学校の跡地利活用については町民の声や思い、提言を聞くことを目的に平成27年12月20日に開催されたまちづくりワークショップから始まり、平成28年2月に3回行われたまちづくり懇談会、平成27年3月23日から平成29年3月22日までの2年間に亘り7回開催された旧矢</p>

巾中学校敷地利用計画検討委員会（後に旧矢巾中学校敷地利用基本方針検討委員会に名称変更）、平成29年1月には町民1,000人を対象に実施されたアンケート調査や中学生議会などで出された多くの意見や要望、思い、将来展望や将来構想、貴重な各種提言など、多くの町民が関わり、町民主体の活用について検討が重ねられてきた。

こうした経過の中、2回の開催のみで民間への売却を方針案として決定にした庁内検討委員会は前述の経緯と、旧矢巾中学校敷地利用検討委員会が平成29年3月22日に出した答申をどのように捉え真摯に検討し、方針案としたのか疑問を感じざるをえない。跡地活用策に期待し注目している多くの町民が理解し納得できるような説明を求める。

② 住宅用地の需要が多いことを民間への売却の根拠としているが、現在、市街化区域33haの拡大を東北農政局に申請中であり、33haの内22haは民間開発による住宅地が多くを占めており、認可されると500戸ないし600戸の住宅建設が可能と思われる。こうした中において一部は残すとしているものの、あえて今の時期に3.3haを民間へ売却し、住宅地や業務用地として開発することを基本方針案とした理由と根拠を示されたい。

③ 提案した基本方針案について議会の意見をお願いしたいと言っているが、検討するための素材としては余りにも提案が大雑把過ぎて、イメージが出来ない内容である。例えば一部は空き地として残し緑地や駐車場、防災空間として活用するとしているが、どこを売却しどこを残すのか、また、モデルタウンとして宅地開発を進めるとしているが、モデルタウンとはどのようなものなのか、また、将来の教育施設や社会教育施設の整備費用として基金に積み立てるとしているが、どのくらい基金に積み立てになるのか、さらには将来構想として持っている教育施設や社会教育施設とはどのようなものなのか、などなど、肝心な部分は殆んど明らかになっていないのが方針案の内容である。

したがって、意見を求めるとしていながら極めて不十分な提案内容であり、多く町民が関心を持っている事案であることから、さまざまな方向から検討するための具体的な

	<p>内容を示されたい。</p> <p>④ 町民の貴重な共有財産である旧矢巾中学校敷地の利活用方針案については、具体的内容を町民に示し説明することが求められていると思うが、今後の対応について見解を伺う。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 小中学校におけるコロナ対策強化について (答 弁 者) 教育長</p> <p>県内における新型コロナウイルスの感染状況は、5月に入って毎日20人前後の感染者が出ており、警戒感が増してきている。2月に小中高のクラスターが大船渡市で発生し、その後、4月に入り10歳未満37人、10代28人の感染者がでており、学校現場や保護者の警戒感が高まっている。こうした状況の中、県教委は学校現場の新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、校内の消毒作業などを担う「スクール・サポート・スタッフ」112人を新たに確保し、県内の小中学校や特別支援学校に1人ずつ配置し感染を警戒する状況が長期化する教員の負担を減らし、児童生徒の環境を整えるとしているが、本町における小中学校の新型コロナウイルス感染予防対策について以下伺う。</p> <p>① 学校現場におけるコロナ対策はどのような取り組みがされてきているのか、例えば、校内外の消毒や教室内の消毒・換気、机の配置、部活動での取り組みや児童生徒に対する注意喚起などについて。</p> <p>② 「スクール・サポート・スタッフ」の配置について小中学校に関しては本年度、既に配置されている学校もあるとのことであるが、本町における現状と増配置になる学校があるのか。</p> <p>③ 学校現場は児童生徒が触れる場所の消毒作業を繰り返す必要があるため、規模によっては長時間かかるとのことであるが、本町の状況はどうか。</p> <p>④ スタッフは校内の消毒作業のほか教材印刷、健康観察の</p>

取りまとめなどを補助するとしているが、こうした補助により、教員が子どもと触れ合う時間の確保や授業の準備時間の確保につながり、子どもの学びの保障につながることができるとしているが、スタッフによる補助はどの程度を考えているのか。

- ⑤ 昨年度、盛岡市の小中学校、幼稚園、保育園におけるコロナ対策の取り組みの一環として、国からの補助金を活用し水道の蛇口をレバー式に交換したとのことであるが、本町における小中学校の蛇口の数と、改修費について、更には腕で開閉可能なレバー式に交換するべきと考えるが見解を伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 9	令和3年 5月19日	午前・ <del>午後</del> 10時50分
議席番号13番	川村よし子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) コロナ感染症拡大に伴う対策について (答弁者) 町長、教育長</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、世界中で蔓延し各種変異株の発生も広がってきている状態です。わが国でもようやく予防接種は開始されていますが収束の見込みが見えない状況です。町内でも感染者が発生し大変な状況です。以下4点伺います。</p> <p>① 生活保護申請を含めた生活相談件数や税金の減免申請はどのような状況か。また教育委員会関係の就学支援制度の準要保護児童生徒はどう変化しているのか。</p> <p>② 新型コロナ対策で地域企業経営継続支援事業などの支援策について、町ではどのような広報活動を行っているのか。また、申請しやすい仕組みを考えているのか。</p> <p>③ 町内の事業者に対する実態調査をし、町独自の対策を考えてはどうか。</p> <p>④ 矢巾町に住んでいる学生や若者の生活状況を把握しているか。また、奨学金返済猶予や国民年金保険料が支払えない若者への支援策が必要と考えているがどうか。</p>

質問 2

(質問事項) 矢巾町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について

(答弁者) 町 長

- ① 矢巾町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたりアンケート調査を実施しているが、高齢者の生活実態についてどのような傾向にあると認識しているか。
- ② 要支援1・2に続き、要介護1・2の在宅介護サービスを保険給付から外すことが議論された。認知症を含め、高齢者の4人に1人が介護を必要とする状況であり、現制度において軽度認知症介護は家族任せという状況となっている。えんじょいセンターが設置されたが、オレンジボランティアの育成や有償ボランティア活動はどのように行われているか。
- ③ デイサービスや訪問看護において事故が起きているが、有償ボランティア活動時において要介護者が事故等により負傷した場合の補償について把握しているのか。
- ④ 小規模の事業所は研修に参加できないところも出てくるのではないかと危惧するが、対策を考えているか。
- ⑤ 重層的支援体制整備事業により、民生委員や自治会など地域との関わりをどのように考えているのか。
- ⑥ 介護従事者の確保が施設運営上苦慮していると聞くが、町として具体的対策をどのように考えているか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>10</u>	令和3年 5 月 19 日	午前・ <del>午後</del> 11時35分
議席番号 <u>2</u> 番	吉田喜博	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 矢巾町の防災体制と消防団員について (答弁者) 町長</p> <p>矢巾町は、機能別消防団員の導入や防災士の育成に力を入れ、昨年8月9日を「矢巾町安全・安心の日」と制定するなど防災や災害対応に取り組んできました。一方で、火災をはじめ災害時に活躍が期待される消防団員の減少への対応は全国的な課題であり、矢巾町でも定員割れが懸念される消防団もある。このようなことから防災体制について伺う。</p> <p>① 町内での災害発生に備え、常備消防の強化とともに消防団の強化も重要と考えます。消防団には、多くの役場職員が在籍しており大変心強いのですが、大規模災害発生時には、役場職員としての職務と消防団員としての任務の両立は難しいと考えるが、この問題をどうとらえているか。</p> <p>② 各部の消防ポンプ自動車の更新について、計画的な導入が進められていることは防災力の向上に直接的に寄与するものである。今後、消防ポンプ自動車を導入する消防団の更新計画、その仕様について伺う。</p> <p>③ 消防ポンプ自動車を自動車運転免許の関係で運転できないという事例が問題となっている。具体的には、準中型やAT車限定といった免許保有者が消防ポンプ自動車を運転できない現状である。そこで機能別消防団員は消防ポンプ自動車の運転操作が可能となっているか。また、団員が消防自動車を運転できる免許を取得するための補助制</p>



	度を設ける考えはないか伺う。
質問 2	<p>(質問事項) 本町の特産品について (答 弁 者) 町 長</p> <p>矢巾町の特産品開発の取組について伺う。</p> <p>① 今まで矢巾町が開発した特産品は、どこに委託して開発し、矢巾町産の生産物がどの程度使用されているか。また、現状はどのようになっているのか伺う。</p> <p>② これまで何種類かの日本酒や焼酎が特産品としてつくられてきたが、現在は販売されていないとも聞かれる。そうした酒類はどのようになっているのか。また、民間企業による特産品の開発は難しいが、今後、町として特産品の開発に民間企業がどのように関わっていくのか伺う。</p> <p>③ 農畜産物をはじめ、新たに開発するものや既にある様々な特産品を「矢巾町特産品」と認証する仕組みを作り、矢巾町をPRしていくこともブランド化につながると思うがどうか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 11	令和3年5月19日	午前・ <del>午後</del> 11時58分
議席番号14番	小川文子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) スーパーシティ構想について (答弁者) 町長</p> <p>AIやビッグデータを活用した未来都市の実現により、地域課題を解決するとして、スーパーシティ型国家戦略特区へ応募したことから以下伺う。</p> <p>① 応募前に町民への説明会がなされなかったなど、住民への説明責任が十分果たされたとは考えられない。今後、住民合意を得るためにどのような対応を考えているか。</p> <p>② 町づくりの基本は、町民福祉の向上にあるが、国家戦略特区では首相主導で経済の立て直しが大きな目的となり、これまでと町づくりの方向性が変わるのではないか。</p> <p>③ UGV車（無人運転車両）、自動運転トラクター、町内全域へのドローン配送には5Gが必要ではないか。</p> <p>④ 先端技術には、メリットとデメリットがあり、また、プライバシー、個人情報保護など倫理上の問題もあることを町民は懸念している。この声にどう応えるか。</p> <p>⑤ オンライン服薬を行うと、小さな薬局は大きな薬局に調剤の仕事と薬の配送を再委託することにより、小さな薬局の経営が苦しくなるのではないか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 学校給食の調理部門等の民間委託について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>町の学校給食は輝かしい歴史があり、それを守ることも重要と考えることから以下伺う。</p> <p>① 現在の職員構成はどうなっているか。また、町の臨時職員の労働条件は。</p> <p>② 調理員の確保のために民間委託ではなく、臨時職員の数を増やすことや時給を上げるべきではないか。</p> <p>③ コロナ禍の中、チームとして努力し、問題なく運営してきた学校給食について臨時職員を含め引き続き雇用し、このチームのもとで、コロナ対策に当たった方がよいのではないか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 旧矢巾中学校跡地利活用 (答 弁 者) 町 長</p> <p>旧矢巾中学校跡地は、町の中心にあり、今後の町づくりに重要である。また、何よりも町民の求める夢のある利活用が求められることから以下伺う。</p> <p>① 町民による策定委員会の提案は運動公園、憩いの広場であったことから、この実現のために当面公園として活用すべきではないか。</p> <p>② 売却は町民から疑問の声が出ており、町民の声を聞く場を設けてはどうか。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) コロナ禍の中ひとり親世帯への町独自の支援を (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>国の支援もあるが、特にもひとり親世帯は弱い立場にあ</p>

り、町としての継続した経済支援が必要と思うことから伺う。

- ① 実態調査を行ってはどうか。
- ② 町独自のひとり親世帯への経済支援をできないか。
- ③ 災害備蓄品として確保されている賞味期限の近い食料品などをひとり親世帯に提供してはどうか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>12</u>	令和3年 5月19日	午前・ <del>午後</del> 11時59分
議席番号 <u>12番</u>	長谷川 和 男	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 旧矢巾中学校敷地の利活用について (答弁者) 町長</p> <p>令和3年3月29日開催の議会全員協議会にて旧矢巾中学校敷地の利活用について、これまでの経緯と矢巾町の現在の状況から最終決定すべき時期が到来していると判断し、様々検討した結果を基本方針として示された。</p> <p>その基本方針は、町の第7次総合計画における「人口3万人」の実現のためにも、また宅地の需要が多いこと、用途地域に整合性を持つ業務用地としての可能性も考慮し、かつこうグラウンドも含めた宅地及び業務用地開発を前提とした民間への売却を行い、一部を空き地として残し、通常は緑地や駐車場等として使用し、緊急時には防災空間として活用する。売却して得られた収入については、昭和36年矢巾中学校整備時の経緯を考慮し、教育施設及び社会教育施設の整備費として将来的に起こり得る学校の建て替えや再編のための基金として積み立てたいとの説明であった。また、この事業は先に議会側から基本的な考え方を提示されたいと申しでた経緯があります。人口減少は、本町のみならず、全国的な問題であり、深刻になってからでは遅く、町は持続可能な行政運営を求められる。</p> <p>町有地の普通財産の売却なら別であるが、徳田小学校の移転計画を早期立ち上げてこの度の旧矢巾中学校跡地問題と関連させて明らかにすべきであったのではないか。この件については、何度も議場で取り上げておりましたが、徳丹城史</p>

跡関連事業は区域内地権者の協力もあって、家屋移転は数年前に終え、残り徳田小学校の移転のみとなり、文化庁と2020年までに徳田小学校を史跡区域外に移転する約束も経過した事や、老朽化で改修箇所が多くあるが、大きな補修は避けている状態であり、仮に今移転計画を策定したとしても完了までに6年～8年の歳月が掛かるのではと思われる。

この事業も含めて小中一貫校も視野に入れて、その為の売却であれば町民にも理解頂けるよう議員として前向きに議論していきたいと思うので以下の点についてお伺いします。

- ① 売却する場合は、一部を空地として残し、緊急時には防災空間として活用するとの説明だったが、空地を除いた売却額をどれぐらい見込んでいるのか。
- ② 空き地については議会からの意見を反映させたいとの説明でしたが、計画提案ですから現時点における当局の考え方を示して頂きたい。
- ③ 教育施設、社会教育施設整備は先般の説明では今の段階では具体的な施設整備はないとの事であったが、やはり主たる目的があつての貴重な財産を売却するのだから、町民の理解を得るには具体的な計画が必要であると考えがどうか。
- ④ 宅地分譲はモデルタウンとして住宅開発をする計画のようですが、これは分譲の条件としてSDGsや脱炭素などの取り組みを反映させるのか。また紫波町のオガールタウンのように町独自の販売方式として町内建設業者で構成する請負事業を取り入れる考えはないのか伺う。
- ⑤ 社会教育施設の整備は、具体的な施設整備を考えてはいないとの事ですが、行政として目標とする将来像を立てて頂きたい。町長は、第7次総合計画後期基本計画において全天候型多目施設室内練習施設、スポーツ健康科学センター建設に意欲的なビジョンを打ち出しておりますが、私は旧矢巾中学校跡地が候補地かなと思っておりました。しかし、この度の売却方式では予定地ではないと思っている。私は、町民センター機能の充実の為、災害時の対応にもなる体育施設も含め建設できる用地を町民センター周辺に

	<p>取得しておくべきと考えている。将来体育館の建て替えが必要となる時の為、また、この度の跡地売却の理由の位置付けを考慮すれば、以上の事を取組むのであれば、十分な議論を重ねて進めるべきと考えているのでお伺いします。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 政策秘書について (答弁者) 町 長</p> <p>昨年の国勢調査速報値が報道され、岩手県は5年前の調査から6万8,388人、5.3%の大幅減少であり、人口減少問題へ慎重に対処していくことが現実必要となっております。矢巾町は、1.4%増の2万8,076人と2万8千人台にはなりましたが、これから本町の人口問題諸政策対応で目標値である人口3万人を達成できても、その後は他自治体と同様に人口減少となることが予測されます。これからの行政運営の舵取りは非常に厳しいこととなってくると思われることから、以前にも一般質問で、政策秘書を公募し設置を検討すべきと提言しましたが再度お伺いします。</p>